

## II. 授業の実施・協力

### 1. 授業実施（ボランティアセンターが開講）

- (1) 授業名：ボランティア論 ～転換期を迎えた社会で求められること～  
 （全学共通科目 コラボレーション科目）

曜日／時限	春学期（2023年4月11日～7月18日）／火曜日2限（10：45-12：25）		
場 所	池袋キャンパス MB01教室		
授業担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結城 俊哉 （コーディネーター／ボランティアセンター副センター長／コミュニティ福祉学部 教授）</li> <li>・ 豊永 はるか（兼任講師／日本財団ボランティアセンター）</li> <li>・ ゲストスピーカー</li> </ul>		
履修者数	289名 ※履修希望者360名から抽選		
授業の目標	<p>(1) 漠然としたボランティアのイメージを、ステレオタイプなボランティアだけでなく、スポーツボランティア、企業のCSR活動など、ボランティア活動が多岐に亘っているということを実感することで、ボランティアの「多様性」について理解する。</p> <p>(2) ボランティアを考えることを通して、自分と社会との接点を意識できるようになる。</p> <p>(3) 社会問題を自分の頭で考えられるようになり、その解決や新たな社会の枠組みを形成していく場へ積極的に参画するきっかけになる。</p> <p>(4) 具体的なボランティアのイメージを理解することで、実際の行動へとつながられるようになる。</p> <p>(5) ボランティアの経験を「言葉」等で発信（伝えることが）できるようになる。</p> <p>(6) ボランティアの経験から、自分のキャリア形成を考えることができるようになる。</p> <p>(7) ポストコロナの時代のボランティアの在り方を考える。</p>		
担当講師	氏 名	現 職	専門分野、テーマ等
	コーディネーター 結城 俊哉	ボランティアセンター副センター長、 コミュニティ福祉学部 教授	ソーシャルワーク論、障害者福祉論、 ノーマライゼーション論、ケア論
	兼任講師 豊永 はるか	日本財団ボランティアセンター	ワークキャンプ、国際交流、災害ボラ ンティア
	池田 龍介	（一社）E-Yoron 事務局長	地域と社会が連動した取り組み
	磯田 浩司	NPO法人 good! 代表	一歩踏み出す。世界、広がる －「気持ちの良い人間関係」をもたらす ワークキャンプの視点
	遠藤 聡	（一社）ピースポート災害支援センター	災害ボランティアについて ～今、私たちにできることは？～
	土屋 匠宇三	（一社）彩の国子ども・若者支援ネット ワーク 代表理事	地域における学習支援ボランティア
	森田 たいしん	フリージャーナリスト	ボランティア体験を言葉にする意義
	奥山 葉月	NPO法人 自立生活センター（CIL）立 川 生活介護事業 えんぱわサービス管 理責任者	ボランティア活動の発想を転換する力 とは～障害者自立生活支援の当事者活 動～
	中川 馨	NPO法人 日本NPOセンター 職員、 NPO法人 れんげ舎 職員	企業が取り組む社会貢献活動 －NPOと企業の連携
結城 俊哉	ボランティアセンター副センター長、 コミュニティ福祉学部 教授	「ケアの担い手」としての「ボランテ ィア」とは～対人援助の視点から～	

	増田 一世 (公社) やどかりの里 理事長	障害者支援について考える～誰もが共生できるコミュニティ創りをめざして～
	福井 崇人 (一社) 2025PROJECT 代表理事	ソーシャルデザイン ～アイデアが世界を変える～
授業内容 (全14回)	① 4月11日：オリエンテーション、ボランティアセンター及びボランティアプログラム紹介 ② 4月18日：ボランティアの歴史と諸概念 ③ 4月25日：ボランティアを取り巻く社会 ④ 5月9日：立教大生によるボランティア活動～ボランティア実践の紹介～ ⑤ 5月16日：地域と社会が連動した取り組み ⑥ 5月23日：一歩踏み出す。世界、広がる－「気持ちの良い人間関係」をもたらすワークキャンプの視点 ⑦ 5月30日：災害ボランティアについて～今、私たちにできることは？～ ⑧ 6月6日：地域における学習支援ボランティア ⑨ 6月13日：ボランティア体験を言葉にする意義 ⑩ 6月20日：ボランティア活動の発想を転換する力とは～障害者自立生活支援の当事者活動～ ⑪ 6月27日：企業が取り組む社会貢献活動－NPOと企業の連携 ⑫ 7月4日：「ケアの担い手」としての「ボランティア」とは～対人援助の視点から～ ⑬ 7月11日：障害者支援について考える～誰もが共生できるコミュニティ創りをめざして～ ⑭ 7月18日：ソーシャルデザイン～アイデアが世界を変える～（授業のまとめと振り返り）	



## 2. 授業協力（ゲストスピーカーとして参加）

(1) 授業名：「大学生の学び・社会で学ぶこと」（全学共通科目 RSL科目）

開講時期	春学期			秋学期
場 所	池袋 M201教室	池袋 D401教室	新座 N313教室	池袋 M301教室
担当教員	福原 充	中川 英樹	中沢 聖史	中沢 聖史
担 当 回	第3回 正課外教育における学び			
実 施 日	4月26日（水）3限	4月28日（金）1限	4月27日（木）2限	10月9日（月）2限
担 当 者	広瀬 かおり	広瀬 かおり	齋藤 元気	齋藤 元気
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正課教育と正課外教育の違い</li> <li>・ 正課と正課外をつなぐ立教大学独自の教育（RIKKYO Learning Style）</li> <li>・ 立教大学における正課外教育の取り組み例（各種キャンプ、陸前高田サテライトなど）</li> <li>・ 立教大学ボランティアセンターの概要と取り組み（ミッションステートメント、基本方針）</li> <li>・ そもそもボランティア活動とは（ボランティアの語源、キー概念など）</li> <li>・ 立教大学の正課外教育における特徴</li> </ul>			

## (2) 授業名：「基礎演習」（スポーツウエルネス学部・コミュニティ福祉学部）

実施日時	4月19日（水）3限 14：00-14：15	6月21日（水）2限 11：15-12：15
場 所	新座 N121教室	新座 N227教室
担当教員	奇二 正彦	重田 史絵
担 当 者	齋藤 元気	

## (各回の概要)

## ■ 4/19（水）「立教大学ボランティアセンターの取り組みと役割」

概 要	スポーツウエルネス学部における各基礎演習の合同で行われた学内ガイダンスにおいて、ボランティアセンターの機能と活用方法を紹介した。
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立教大学ボランティアセンターの概要と取り組み（ミッションステートメント、基本方針）</li> <li>・そもそもボランティア活動とは（ボランティアの語源、キー概念など）</li> <li>・ボランティア活動への関わり方とその支援（学内活動への参加、学外活動への参加、新たな活動の創造）</li> <li>・立教大学として大事にしていること</li> </ul>

## ■ 6/21（水）「立教大学ボランティアセンターの取り組みと役割 - ボランティア活動への一歩 - 」

概 要	ボランティアセンターの機能や活用方法に加え、今年度すでに実施した取り組みについて、活動写真や実際に活動した学生の声（振り返り）を交えて紹介した。
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそもボランティア活動とは（ボランティアの語源、定義など）</li> <li>・ボランティア活動にまつわる言説とリスク</li> <li>・立教大学ボランティアセンターの概要と取り組み（ミッションステートメント、基本方針）</li> <li>・ボランティア活動への関わり方とその支援（学内活動への参加、学外活動への参加、新たな活動の創造）</li> </ul>

## (3) 授業名：「キャリアデザイン」（全学共通科目・全学共通カリキュラム（総合系））

実施日時	5月31日（水）3限 13：25-15：05	
場 所	池袋 D301教室	
担当教員	倉品 武文	
担 当 者	齋藤 元気	
概 要	ボランティアセンターの機能や活用方法に加え、今年度すでに実施した取組について、活動写真や実際に活動した学生の声（振り返り）を交えて紹介した。	
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそもボランティア活動とは（ボランティアの語源、定義など）</li> <li>・ボランティア活動にまつわる言説とリスク</li> <li>・立教大学ボランティアセンターの概要と取り組み（ミッションステートメント、基本方針）</li> <li>・ボランティア活動への関わり方とその支援（学内活動への参加、学外活動への参加、新たな活動の創造）</li> </ul>	